

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

化学経情報1号棟503室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

1. 基本的な文法事項(5文型、動詞、助動詞、不定詞、分詞等)の理解
2. 2、3ページの英文を読み、一文一文日本語に訳することなく、内容を把握し、T/F問題、語彙問題などさまざまな形式の質問に答える練習
3. 英語を聞き取る練習(教材として作成されたニュース、Voice of America のspecial English, Radion Japan のニュース等)
4. 新聞の科学記事を読む練習
5. パソコンを用いて自己紹介等の英文を書く練習

【教科書】

- 1時限目のクラス 文法中心の大学英語 (南雲堂)
- 2時限目のクラス 英文多読入門BOOK1 (成美堂)

【成績の評価方法と評価項目】

出席、宿題が25パーセント、期末試験が75パーセント

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2>

【担当教員】

野中 辰也

【教員室または連絡先】

非常勤講師

E-mail:nonaka@n-seiryu.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

毎時間、主に以下の項目について解説・演習を行なう。

- 1) 速読練習
- 2) 辞書指導・基礎文法解説
- 3) 多読作業

【教科書】

特定の教科書は使用せず、必要に応じてハンドアウトを配布する。
辞書必携(第3週目から使用できるように用意すること)

【参考書】

- 1) 『理系のためのサバイバル英語入門』
東大サバイバル英語実行委員会著 講談社ブルーバックスB1109
- 2) The Daily Yomiuri(日刊英字新聞)

【成績の評価方法と評価項目】

- 1) テスト(40%) : 学期末に実施。
- 2) レポート1(40%) : 毎授業中のレポート提出数および内容。
- 3) レポート2(20%) : 指定した速読教材の要約文(毎回の宿題)。
- 4) 出席: 遅刻・欠席は減点対象とする。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
毎時間、英和辞典を持参すること。

【担当教員】

村上 直久

【教員室または連絡先】

化学・経営情報棟506

【授業目的及び達成目標】

コミュニケーションに役立つ語法を中心に基礎英文法を学習する。合わせてTOEICのリスニング・テストに備える。

【授業キーワード】

基礎英文法、TOEICリスニング、コミュニケーション能力

【授業内容及び授業方法】

授業の初めに毎回、TOEIC対策のリスニング・テストを行う。専門分野の英語を読んだり、英語で論文を書いたりしなければならない大学生として最低これだけは理解して欲しい英文法を数十のポイントにまとめ、それを学習した後、理解度を基本練習問題と応用練習問題で確認する。

【授業項目】

品詞・文型、句・節・文、名詞、代名詞、冠詞、形容詞、動詞、時制、進行形、完了形、助動詞、不定詞

【教科書】

Basic Grammar for College Students (大学生のための基礎英文法—グラマーからリーディングへ—) 小中秀彦、成美堂

【参考書】

英文法を知ってますか」渡部昇一 文春新書
「リーダーズ英和辞典」研究社

【成績の評価方法と評価項目】

宿題提出状況 10%、リスニング小テスト(最後の3回の平均) 20%、教科書の理解度についてのテスト 50%、実力テスト 20%

【担当教員】

Haga Lori (羽賀ロリー)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

The aim of this course is to motivate the students to think in English. To develop Positive Critical Thinking and Problem Solving Skills. To discuss and give opinions on topics relevant to young people today.

【授業キーワード】

Extract Information. Think in English. Solve Problems. Express Opinions.

【授業内容及び授業方法】

In class I will concentrate on spoken English. We will discuss topics in pairs and groups. Students will be encouraged to explain and describe things as simply and clearly as possible and to persevere until the meaning is understood. Practical task based exercises, DVD, CD and audio tapes will be used to stimulate pair work, role play etc; Dictation will be given as homework.

【授業項目】

The schedule is based on Impact TOPICS. I intend to finish one unit every week. We will also use other materials and analyze the dictation homework.

【教科書】

Impact TOPICS By Richard R Day & Junko Yamanaka (Longman ELT)

【成績の評価方法と評価項目】

- 1) In grading I will consider homework as a basic element. You will be given a short dictation to be completed as homework every week.(max 40%)
- 2) You are required to attend at least two-thirds of the classes in a term.(max 15%)
- 3) A quiz will be given at the beginning of each class and the results will be considered for grades. Active participation in the class activities will be considered.(max15%)
- 4) At the end of the term, an exam will be given. (max 30%)
- 5) You need to obtain 60 points to pass this course.

【留意事項】

Please purchase the textbook at your earliest convenience. Also, have a 60 minute cassette tape ready for your homework assignments and a dictionary.

【担当教員】

沼屋 希夫

【教員室または連絡先】

非常勤講師
E-mail:m2n2my@ybb.ne.jp

【授業目的及び達成目標】

ビデオテープ、音声テープ、テキストが一体となったマルチメディア型LL教材を用い、日常生活で使われる authentic Englishを学んでいく。特に、聞く力、話す力の向上を目指す。

【授業キーワード】

聴解、スピーキング、イギリス文化

【授業内容及び授業方法】

13世紀から現代社会に突如現れたWilliamが引き起こすドラマを毎回視聴する。音声テープとテキストによる様々なタスクを行い、聴解力、表現力の養成を図る。また、イギリス文化の紹介記事を読み、ドラマの文化的背景についても学ぶ。

【授業項目】

第1週	Prologue: The Family Tree
第2週	Unit 1: Who Are You?
第3週	Unit 2: General Purpose Clothing
第4週	Unit 3: Alchemist and Philosopher
第5週	Quiz 1, Unit 4: Today's Carts
第6週	Unit 5: What's Got into Larry?
第7週	Unit 6: A Convertible Couch
第8週	Quiz 2, Unit 7: Romantic Sally
第9週	Unit 8: Lost in the City
第10週	Unit 9: Ground Floor
第11週	Quiz 3, Unit 10: William Spills the Beans
第12週	Unit 11: It's Fun
第13週	Unit 12: Frantic Reception
第14週	Review
第15週	Final Exam

【教科書】

Cousin William (1), 大八木廣人・黄金井健夫・滝本晴男・Janusz Buda (共編), 成美堂

【参考書】

Oxford Wordpower 英英辞典

【成績の評価方法と評価項目】

出席・授業への貢献度—30%、小テスト—20%、最終試験—50%

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟503室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

1. 基本的な文法事項(5文型、動詞、助動詞、不定詞、分詞等)の理解
2. 2、3ページの英文を読み、一文一文日本語に訳することなく、内容を把握し、T/F問題、語彙問題などさまざまな形式の質問に答える練習
3. 英語を聞き取る練習(教材として作成されたニュース、Voice of America のspecial English, Radion Japan のニュース等)
4. 新聞の科学記事を読む練習
5. パソコンを用いて自己紹介等の英文を書く練習

【教科書】

- 1時限目 VOA&文法 (南雲堂)
- 2時限目 Between the Lines 4 (松柏社)

【成績の評価方法と評価項目】

出席、宿題が25パーセント、期末試験が75パーセント

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2>

【担当教員】

野中 辰也

【教員室または連絡先】

非常勤講師
E-mail:nonaka@n-seiryu.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

毎時間、主に以下の項目について解説・演習を行なう。

- 1) 速読練習
- 2) 辞書指導・基礎文法解説
- 3) 多読作業

【教科書】

特定の教科書は使用せず、必要に応じてハンドアウトを配布する。
辞書必携(第3週目から使用できるように用意すること)

【参考書】

- 1) 『理系のためのサバイバル英語入門』
東大サバイバル英語実行委員会著 講談社ブルーバックスB1109
- 2) The Daily Yomiuri(日刊英字新聞)

【成績の評価方法と評価項目】

- 1) テスト(40%) : 学期末に実施。
- 2) レポート1(40%) : 毎授業中のレポート提出数および内容。
- 3) レポート2(20%) : 指定した速読教材の要約文(毎回の宿題)。
- 4) 出席: 遅刻・欠席は減点対象とする。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
毎時間、英和辞典を持参すること。

【担当教員】

村上 直久

【教員室または連絡先】

化学・経営情報棟506

【授業目的及び達成目標】

コミュニケーションに役立つ語法を中心に基礎英文法を学習する。合わせてTOEICのリスニング・テストに備える。

【授業キーワード】

基礎英文法、TOEICリスニング、コミュニケーション能力

【授業内容及び授業方法】

授業の初めに毎回、TOEIC対策のリスニング・テストを行う。専門分野の英語を読んだり、英語で論文を書いたりしなければならない大学生として最低これだけは理解して欲しい英文法を数十のポイントにまとめ、それを学習した後、理解度を基本練習問題と応用練習問題で確認する。

【授業項目】

動名詞、分詞、副詞、前置詞、接続詞、受動態、比較・否定、疑問詞、関係詞、仮定法・話法、無生物主語・名詞構文、強調・倒置・省略・挿入

【教科書】

Basic Grammar for College Students (大学生のための基礎英文法—グラマーからリーディングへ—) 小中秀彦、成美堂

【参考書】

「英文法を知ってますか」渡部昇一 文春新書
「リーダーズ英和辞典」研究社

【成績の評価方法と評価項目】

宿題提出状況 10%、リスニング小テスト(最後の3回の平均) 20%、教科書の理解度についてのテスト 50%、実力テスト 20%

【担当教員】

Haga Lori (羽賀ロリー)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

The aim of the course is motivate the students to think in English. To develop Positive Critical Thinking and Problem Solving Skills. To discuss and give opinions on topics relevant to young people today.”, “Thinking in English, Problem Solving Skills, Simple and Clear Expressions

【授業キーワード】

Thinking in English, Problem Solving Skills, Simple and Clear Expressions

【授業内容及び授業方法】

In class I will concentrate on spoken English, giving you the opportunity to use real English. We will spend a lot of time discussing topics in pairs and groups.

You will be encouraged to explain and describe things as simply and clearly as possible and to persevere to adapt your language until the meaning is understood.

Practical task based exercises and video and audio tapes will be used to stimulate pairwork, role play etc; Dictation will be given as homework.

【授業項目】

The schedule is based on Impact TOPICS. I intend to finish one unit every week. There will also be discussions based upon other materials and the dictation homework.

【教科書】

Impact TOPICS By Richard R Day & Junko Yamanaka (Longman ELT)

【成績の評価方法と評価項目】

- 1) In grading I will consider homework as a basic element. You will be given a short dictation to be completed as homework every week.(max 40%)
- 2) You are required to attend at least two-thirds of the classes in a term.(max 15%)
- 3) A quiz will be given at the beginning of each class and the results will be considered for grades. Active participation in the class activities will be considered.(max15%)
- 4) At the end of the term, an exam will be given. (max 30%)
- 5) You need to obtain 60 points to pass this course.

【留意事項】

Please purchase the textbook at your earliest convenience. Also, have a 60 minute cassette tape ready for your homework assignments and a dictionary.

【担当教員】

沼屋 希夫

【教員室または連絡先】

非常勤講師
E-mail:m2n2my@ybb.ne.jp

【授業目的及び達成目標】

ビデオテープ、音声テープ、テキストが一体となったマルチメディア型LL教材を用い、日常生活で使われる authentic Englishを学んでいく。特に、聞く力、話す力の向上を目指す。

【授業キーワード】

聴解、スピーキング、イギリス文化

【授業内容及び授業方法】

13世紀から現代社会に突如現れたWilliamが引き起こすドラマを毎回視聴する。音声テープとテキストによる様々なタスクを行い、聴解力、表現力の養成を図る。また、イギリス文化の紹介記事を読み、ドラマの文化的背景についても学ぶ。

【授業項目】

第1週	Prologue
第2週	Unit 1: Praise and Flattery
第3週	Unit 2: Teach Me
第4週	Unit 3: The Girl Chaser
第5週	Quiz 1, Unit 4: The Dishes
第6週	Unit 5: A Microwave Oven
第7週	Unit 6: The Brain
第8週	Quiz 2, Unit 7: William Gets Bored
第9週	Unit 8: A Bull in a China Shop
第10週	Unit 9: Answering Machine
第11週	Quiz 3, Unit 10: A Real Pain in the Neck
第12週	Unit 11: Small Change
第13週	Unit 12: William Gets a Bargain
第14週	Review
第15週	Final Exam

【教科書】

Cousin William (2), 大八木廣人・黄金井健夫・滝本晴男・Janusz Buda (共編), 成美堂

【参考書】

Oxford Wordpower 英英辞典

【成績の評価方法と評価項目】

出席・授業への貢献度—30%、小テスト—20%、最終試験—50%

【担当教員】

村上 直久・中村 善雄・Ota Angela(太田アンジェラ)

【授業目的及び達成目標】

選択科目であり、能力に応じた全般的な英語力の伸長を目標とする。

【授業キーワード】

語彙、文法構造、読解、英作文

【授業内容及び授業方法】

授業内容及び授業方法:能力別クラス編成を行い、基礎クラスでは、基本的語彙(2000語レベル程度)と文法構造の把握に基づいて読解力を養成し、併せて基本的なリスニング能力と短文の作文能力も養成する。上級クラスではより難易度の高い語彙、文法構造を学習し、ある程度まとまった文章を読解する。サマリーライティングなどを通し、作文力も養成する。毎日宿題が課される。

【留意事項】

1月中旬から下旬にかけて、約8日間、毎日2コマ、集中的に行う。実施時期が異なる2コースを開講予定。なお、この科目は一定の条件に基づき、欠落単位の代替単位とすることができる。

【担当教員】

田中 章

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

Chapter 2, 6, 8

【教科書】

Karl Kyuszelnicki/小中秀彦(著)「やさしい生活科学」成美堂

【成績の評価方法と評価項目】

学期末試験を8割、平常点を2割

テキストの訳と作文(作文のないテキストは訳のみ)を授業中に割り当て、予習をやってきてあれば、平常点として3点加える。やってなければ3点減ずる。それから、テキストの練習問題は、やってきてあれば1点を加える。減点はしない。これらの平常点を学期末試験の点数に加減して成績を出す。

出席回数はいくまでも受験資格の有無に関係し、点数に換算しない。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
予習を必ずやってくること。辞典も持参のこと。

【担当教員】

Ota Angela (太田アンジェラ)

【教員室または連絡先】

非常勤講師
E-meil:angela@cc.wakwak.com

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。
英語学習の動機、責任を高める。学習の目的と方法は受講者にゆだねられ、内容もそれによって決定される。

The aim of this course is to increase student motivation towards, and responsibility for their study of English. The class will be asked to decide on the things that they both need to and would like to be able to use English for. Course content will be determined by these needs and wants.

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙
英語による説明

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。
受講者の希望により小説読解、映画鑑賞、生徒自身の作成した英会話の練習などからテーマを選び学習する。

【授業項目】

毎週の授業は、以下のことに焦点を当てる:

- 1) 円滑に進められる会話力
- 2) 新しい語彙の習得
- 3) 聴解力や読解スピードのレベルアップ
- 4) 前回の復習小テスト

【教科書】

〈教科書・参考文献〉
追って決定
その他:
英和、和英辞典
メールアドレスとパソコンへの接続

【成績の評価方法と評価項目】

小テスト 20%
クラスワーク、ペアワーク 20%
自己評価及び授業の参加度 20%
最終試験 20%
宿題: 提出のない場合は不合格になるので注意すること 20%

【留意事項】

授業の遅刻、欠席は上記評価項目のうち60%を失うことになるので注意すること。

【担当教員】

Haga Lori (羽賀ロリー)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。
The aim of this course is to motivate the students to think in English. To develop Positive Critical Thinking and Problem Solving Skills. To discuss and give opinions on topics relevant to young people today.

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙
Extract Information. Think in English. Solve Problems. Express Opinions.

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

In class I will concentrate on spoken English. We will discuss topics in pairs and groups. Students will be encouraged to explain and describe things as simply and clearly as possible and to persevere until the meaning is understood. Practical task based exercises, DVD, CD and audio tapes will be used to stimulate pair work, role play etc; Dictation will be given as homework.

【授業項目】

The schedule is based on Impact VALUES. I intend to finish one unit every week. We will also use other materials and analyze the dictation homework.

【教科書】

Impact VALUES By Richard R Day & Junko Yamanaka (Longman ELT)

【成績の評価方法と評価項目】

- 1) In grading I will consider homework as a basic element. You will be given a short dictation to be completed as homework every week.(max 40%)
- 2) You are required to attend at least two-thirds of the classes in a term.(max 15%)
- 3) A quiz will be given at the beginning of each class and the results will be considered for grades. Active participation in the class activities will be considered.(max15%)
- 4) At the end of the term, an exam will be given. (max 30%)
- 5) You need to obtain 60 points to pass this course.

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

Please purchase the textbook at your earliest convenience. Also, have a 60 minute cassette tape ready for your homework assignments and a dictionary.

【担当教員】

沼屋 希夫

【教員室または連絡先】

非常勤講師

E-mail:m2n2my@ybb.ne.jp

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

第1週	Introduction
第2週	英英辞典の活用法(1)
第3週	英英辞典の活用法(2)
第4週	Quiz 1, Unit 1: Mrs. Winchester's house
第5週	Unit 2: Learn simple spelling
第6週	Unit 3: UFOs
第7週	Quiz 2, Unit 4: Baseball
第8週	Unit 5: Houdini
第9週	Unit 6: Going up
第10週	Quiz 3, Unit 7: Airlines
第11週	Unit 8: The red planet
第12週	Unit 9: The Pentagon
第13週	Unit 10: Lemmings
第14週	Review
第15週	Final Exam

【教科書】

- (1) New Century Readers Level 4, Ken Methold・Heather Jones・Naomi Waterman(共編), Macmillan Languagehouse
- (2) Oxford Wordpower 英英辞典, Oxford University Press / 増進会出版社

【成績の評価方法と評価項目】

出席・授業への貢献度—30%、小テスト—20%、最終試験—50%

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟503室

【授業目的及び達成目標】

インターネット、コンピュータに関する基礎的な英語の文献を辞書を用いれば読めるようにする。

【授業キーワード】

コンピュータ英語、インターネット

【授業内容及び授業方法】

まず最初に下記のインターネットに関する題材を扱った教科書を用いてインターネットに関することを英語で理解できるようにする。実際に何度か図書館のコンピュータを用いて教科書で扱う電子メール、ブラウザの使用法などを勉強する。それに加えて、コンピュータの基礎的な知識を英語で理解できるように学習する。なお、これについてはこちらでプリントを様子する。扱う内容の内、CPU、メモリー、大容量記憶装置などについて実物を見ながら理解を深める。その他に、ソフトウェア、プログラム言語、ワープロ、表計算などについても学ぶ。ワープロについては図書館のコンピュータでワープロソフトの「Word」を用い自己紹介の作文を書きながら簡単な使用法を学習する。

【授業項目】

インターネットの教科書で扱う内容はおよそ以下の通りである。

What is the Internet?
What can you do with the Internet?
E-Mail
Lists and Newsgroups
The World Wide Web

【教科書】

英語でインターネット (南雲堂)

【成績の評価方法と評価項目】

出席、毎回の宿題が25パーセント、期末試験が75パーセントとする。

【留意事項】

授業には中型の英和辞典を必ず持って来ること。

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2/>

【担当教員】

石岡・ドライアー

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟509,510室

【授業目的及び達成目標】

It should be borne in mind that this syllabus is highly susceptible to change, given the Instructor's in the importance and central values of a learner-centered approach in which learner autonomy is a guiding principle and ultimate goal. Accordingly, students will be asked—indeed, required—to contribute significantly in shaping the content and character of the class—from the identification of needs and goals to the selection of appropriate and relevant topics, tasks, and assessment vehicles. However, given the aims of the class as stated by the department—i.e., a focus on reading and speaking—this instructor believes that a discussion-based format may best serve the goals of the course. In this format, focus will be placed on weekly readings in one or more topics of interest to the students, and the flow of classroom activity will stem from these readings.

【授業キーワード】

student-centered; topic-based; reading; writing

【授業内容及び授業方法】

Classroom assessment will be based in large part on student participation—including peer interaction, which the instructor envisions as extending beyond traditional discussion to include peer review and assistance. In this manner, it is hoped that all members of the class will contribute to the creation of a “community of learners” with its own unique character, interests, goals, and dominant modes of interaction. In this paradigm, the instructor will be no less of a learner than the students, and emphasis will be placed on facilitation over instruction. For example, the instructor will ideally take on the role of moderator in discussions generated and propelled by the students themselves. He will also offer suggestions and information, where appropriate, relating to the potential use of learner strategies—for example, the use of clarifying questions in conversation; identifying one's audience and answering the so-called “reporter's formula” questions (Who? What? When? Where? Why? How?) in writing; and anticipating the gist of passages through focus on transitional phrases in reading. Finally, in keeping with the spirit of learner-centered pedagogy, this instructor will entertain and address any and all questions relating to English usage and grammar on an ongoing and fluid basis, through the collection of student questions at the end of each class and the selection of the most popular questions for discussion and instruction in subsequent classes.

【授業項目】

Specific activities—some of which will serve as additional assessment vehicles—are likely to include, but not be limited to, TOEIC-based quizzes (which may serve a secondary purpose of preparing students to take the test); argumentative or persuasive discourse (in the form of both oral debate and written essays); student-authored role-plays; and student presentations.

Although the instructor has hopes of broadening student horizons and creating an atmosphere in which curiosity about the world around us is fostered, he also understands that students may have more immediate and specific concerns relating to their areas of study. Thus, he is willing to create jointly with the students a syllabus in which issues of particular interest to the scientific community are given the highest priority. Sources may include on-line academic journals as well as the most recent hard-copy issues of magazines such as, e.g., Scientific American. Additionally, if there is sufficient interest, students may be encouraged to draft possible editorial contributions to such journals, particularly after they have been exposed to a number of examples of such writing.

One characteristic of the syllabus that this instructor is contemplating would have the semester divided into two sections of 6 weeks or so. In the first half, students would be exposed to a series of articles of general interest, and class discussions would be organized around weekly themes. The main means of assessment during this portion of the semester would be a series of debates, the rhetoric of which would have been clarified for students during these first weeks. In the latter portion of the semester, examples of scientific writing would provide the impetus for class discussions and would provide a basis for students to author their own short articles, culminating in presentations that would be the major means of assessment during that time.

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on reading comprehension quizzes (40%); student writing (40%); and class participation (20%). All reading comprehension quizzes will be administered during class hours; writing assignments will consist in both in-class responses to writing prompts and written homework.

【担当教員】

村上 直久

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟506室

【授業目的及び達成目標】

TOEICに備えたリスニング能力を高め、ニュース英語の理解力を涵養することがこの授業の目的である。ナチュラル・スピードで話される英語ニュースへの違和感をなくすことが具体的な目標である。

【授業キーワード】

ニュース英語、TOEIC

【授業内容及び授業方法】

米国の四大テレビ・ネットワークの一つであるABCのワールド・ニュースを集めた新教科書を使用する。これは視聴覚教材付きであり、各トピックごとに(1)ビデオを見る(2)ボキャブラリーを学習する(3)教科書の本文の購読(4)練習問題(5)最後に再びビデオを見る、という流れで授業を進めていく。また、これとは別に授業の初めに毎回、TOEICのためのリスニング・テストを行う。

【教科書】

ABC World News(6)金星堂

【成績の評価方法と評価項目】

総合点の内訳は、教科書本文の和訳(辞書使用不可)の得点を50%、先生が選ぶ英字新聞の記事の和訳(辞書使用可)の得点を25%、リスニング・テストの平均点(最後の三回)を25%とする。

【留意事項】

授業には中型の英和辞典を必ず持ってくること

【担当教員】

田中 章

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

Chapter 3, 5, 9

【教科書】

kari Kruszelnicki/小中秀彦(著)「やさしい生活科学」成美堂

【成績の評価方法と評価項目】

学期末試験を8割、平常点を2割

テキストの訳と作文(作文のないテキストは訳のみ)を授業中に割り当て、予習をやってきてあれば、平常点として3点加える。やってなければ3点減ずる。それから、テキストの練習問題は、やってきてあれば1点を加える。減点はしない。これらに平常点を学期末試験の点数に加減して成績を出す。

出席回数はいくまでも受験資格の有無に関係し、点数に換算しない。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
予習を必ずやってくること。辞典も持参のこと。

【担当教員】

Ota Angela (太田アンジェラ)

【教員室または連絡先】

非常勤講師
E-meil:angela@cc.wakwak.com

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。
英語学習の動機、責任を高める。学習の目的と方法は受講者にゆだねられ、内容もそれによって決定される。

The aim of this course is to increase student motivation towards, and responsibility for their study of English. The class will be asked to decide on the things that they both need to and would like to be able to use English for. Course content will be determined by these needs and wants.

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙
英語による説明

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。
受講者の希望により小説読解、映画鑑賞、生徒自身の作成した英会話の練習などからテーマを選び学習する。

【授業項目】

毎週の授業は、以下のことに焦点を当てる:

- 1) 円滑に進められる会話力
- 2) 新しい語彙の習得
- 3) 聴解力や読解スピードのレベルアップ
- 4) 前回の復習小テスト

【教科書】

〈教科書・参考文献〉
追って決定
その他:
英和、和英辞典
メールアドレスとパソコンへの接続

【成績の評価方法と評価項目】

小テスト 20%
クラスワーク、ペアワーク 20%
自己評価及び授業の参加度 20%
最終試験 20%
宿題:提出のない場合は不合格になるので注意すること 20%

【留意事項】

授業の遅刻、欠席は上記評価項目のうち60%を失うことになるので注意すること。

【担当教員】

Haga Lori (羽賀ロリー)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。
The aim of this course is to motivate the students to think in English. To develop Positive Critical Thinking and Problem Solving Skills. To discuss and give opinions on topics relevant to young people today.

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙
Extract Information. Think in English. Solve Problems. Express Opinions.

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

In class I will concentrate on spoken English. We will discuss topics in pairs and groups. Students will be encouraged to explain and describe things as simply and clearly as possible and to persevere until the meaning is understood. Practical task based exercises, DVD, CD and audio tapes will be used to stimulate pair work, role play etc; Dictation will be given as homework.

【授業項目】

The schedule is based on Impact VALUES. I intend to finish one unit every week. We will also use other materials and analyze the dictation homework.

【教科書】

Impact VALUES By Richard R Day & Junko Yamanaka (Longman ELT)

【成績の評価方法と評価項目】

- 1) In grading I will consider homework as a basic element. You will be given a short dictation to be completed as homework every week.(max 40%)
- 2) You are required to attend at least two-thirds of the classes in a term.(max 15%)
- 3) A quiz will be given at the beginning of each class and the results will be considered for grades. Active participation in the class activities will be considered.(max15%)
- 4) At the end of the term, an exam will be given. (max 30%)
- 5) You need to obtain 60 points to pass this course.

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

Please purchase the textbook at your earliest convenience. Also, have a 60 minute cassette tape ready for your homework assignments and a dictionary.

【担当教員】

沼屋 希夫

【教員室または連絡先】

非常勤講師
E-mail:m2n2my@ybb.ne.jp

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

第1週	Introduction
第2週	Unit 11: Astrology
第3週	Unit 12: Thumbs up!
第4週	Unit 13: Tutankhamen's tomb
第5週	Quiz 1, Unit 14: Detective stories
第6週	Unit 15: Pasta
第7週	Unit 16: Pirates
第8週	Quiz 2, 英英辞典の活用法(1)
第9週	英英辞典の活用法(2)
第10週	Unit 17: Agatha Christie saves a life
第11週	Unit 18: False teeth
第12週	Unit 19: Diamonds
第13週	Quiz 3
第14週	Review
第15週	Final Exam

【教科書】

- (1) New Century Readers Level 4, Ken Methold・Heather Jones・Naomi Waterman(共編), Macmillan Languagehouse
- (2) Oxford Wordpower 英英辞典, Oxford University Press / 増進会出版社

【成績の評価方法と評価項目】

出席・授業への貢献度—30%、小テスト—20%、最終試験—50%

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟503室

【授業目的及び達成目標】

インターネット、コンピュータに関する基礎的な英語の文献を辞書を用いれば読めるようにする。

【授業キーワード】

コンピュータ英語、インターネット

【授業内容及び授業方法】

まず最初に下記のインターネットに関する題材を扱った教科書を用いてインターネットに関することを英語で理解できるようにする。実際に何度か図書館のコンピュータを用いて教科書で扱う電子メール、ブラウザの使用法などを勉強する。それに加えて、コンピュータの基礎的な知識を英語で理解できるように学習する。なお、これについてはこちらでプリントを様子する。扱う内容の内、CPU、メモリー、大容量記憶装置などについて実物を見ながら理解を深める。その他に、ソフトウェア、プログラム言語、ワープロ、表計算などについても学ぶ。ワープロについては図書館のコンピュータでワープロソフトの「Word」を用い自己紹介の作文を書きながら簡単な使用法を学習する。

【授業項目】

インターネットの教科書で扱う内容はおよそ以下の通りである。

What is the Internet?
What can you do with the Internet?
E-Mail
Lists and Newsgroups
The World Wide Web

【教科書】

英語でインターネット (南雲堂)

【成績の評価方法と評価項目】

出席、毎回の宿題が25パーセント、期末試験が75パーセントとする。

【留意事項】

授業には中型の英和辞典を必ず持って来ること。

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2/>

【担当教員】

石岡・ドライアー

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟509,510室

【授業目的及び達成目標】

It should be borne in mind that this syllabus is highly susceptible to change, given the Instructor's in the importance and central values of a learner-centered approach in which learner autonomy is a guiding principle and ultimate goal. Accordingly, students will be asked—indeed, required—to contribute significantly in shaping the content and character of the class—from the identification of needs and goals to the selection of appropriate and relevant topics, tasks, and assessment vehicles. However, given the aims of the class as stated by the department—i.e., a focus on reading and speaking—this instructor believes that a discussion-based format may best serve the goals of the course. In this format, focus will be placed on weekly readings in one or more topics of interest to the students, and the flow of classroom activity will stem from these readings.

【授業キーワード】

student-centered; topic-based; reading; writing

【授業内容及び授業方法】

Classroom assessment will be based in large part on student participation—including peer interaction, which the instructor envisions as extending beyond traditional discussion to include peer review and assistance. In this manner, it is hoped that all members of the class will contribute to the creation of a “community of learners” with its own unique character, interests, goals, and dominant modes of interaction. In this paradigm, the instructor will be no less of a learner than the students, and emphasis will be placed on facilitation over instruction. For example, the instructor will ideally take on the role of moderator in discussions generated and propelled by the students themselves. He will also offer suggestions and information, where appropriate, relating to the potential use of learner strategies—for example, the use of clarifying questions in conversation; identifying one's audience and answering the so-called “reporter's formula” questions (Who? What? When? Where? Why? How?) in writing; and anticipating the gist of passages through focus on transitional phrases in reading. Finally, in keeping with the spirit of learner-centered pedagogy, this instructor will entertain and address any and all questions relating to English usage and grammar on an ongoing and fluid basis, through the collection of student questions at the end of each class and the selection of the most popular questions for discussion and instruction in subsequent classes.

【授業項目】

Specific activities—some of which will serve as additional assessment vehicles—are likely to include, but not be limited to, TOEIC-based quizzes (which may serve a secondary purpose of preparing students to take the test); argumentative or persuasive discourse (in the form of both oral debate and written essays); student-authored role-plays; and student presentations.

Although the instructor has hopes of broadening student horizons and creating an atmosphere in which curiosity about the world around us is fostered, he also understands that students may have more immediate and specific concerns relating to their areas of study. Thus, he is willing to create jointly with the students a syllabus in which issues of particular interest to the scientific community are given the highest priority. Sources may include on-line academic journals as well as the most recent hard-copy issues of magazines such as, e.g., Scientific American. Additionally, if there is sufficient interest, students may be encouraged to draft possible editorial contributions to such journals, particularly after they have been exposed to a number of examples of such writing.

One characteristic of the syllabus that this instructor is contemplating would have the semester divided into two sections of 6 weeks or so. In the first half, students would be exposed to a series of articles of general interest, and class discussions would be organized around weekly themes. The main means of assessment during this portion of the semester would be a series of debates, the rhetoric of which would have been clarified for students during these first weeks. In the latter portion of the semester, examples of scientific writing would provide the impetus for class discussions and would provide a basis for students to author their own short articles, culminating in presentations that would be the major means of assessment during that time.

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on reading comprehension quizzes (40%); student writing (40%); and class participation (20%). All reading comprehension quizzes will be administered during class hours; writing assignments will consist in both in-class responses to writing prompts and written homework.

【担当教員】

村上 直久

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟506室

【授業目的及び達成目標】

TOEICに備えたリスニング能力を高め、ニュース英語の理解力を涵養することがこの授業の目的である。ナチュラル・スピードで話される英語ニュースへの違和感をなくすことが具体的な目標である。

【授業キーワード】

ニュース英語、TOEIC

【授業内容及び授業方法】

米国の四大テレビ・ネットワークの一つであるABCのワールド・ニュースを集めた新教科書を使用する。これは視聴覚教材付きであり、各トピックごとに(1)ビデオを見る(2)ボキャブラリーを学習する(3)教科書の本文の購読(4)練習問題(5)最後に再びビデオを見る、という流れで授業を進めていく。また、これとは別に授業の初めに毎回、TOEICのためのリスニング・テストを行う。

【教科書】

ABC World News(6)金星堂

【成績の評価方法と評価項目】

総合点の内訳は、教科書本文の和訳(辞書使用不可)の得点を50%、先生が選ぶ英字新聞の記事の和訳(辞書使用可)の得点を25%、リスニング・テストの平均点(最後の三回)を25%とする。

【留意事項】

授業には中型の英和辞典を必ず持ってくること

【担当教員】

村上 直久・中村 善雄・Ota Angela(太田 アンジェラ)

【授業目的及び達成目標】

選択科目であり、技能別に関心のある分野を学習しつつ、全般的な英語力の伸長を目標とする。

【授業キーワード】

語彙、文法構造、読解、英作文、聞き取り

【授業内容及び授業方法】

英文法、英作文、聞き取り等の技能別分野に3クラス開講する。英文法のクラスでは基礎的な語彙、基本的な英文法をを学習する。英作文のクラスでは英文法の理解に基づき、語順などを含む基礎的な作文能力を身につける。聞き取りのクラスでは簡単な聞き取りの練習を行いつつ、読む能力の向上を図る。学生は自分の関心のあるクラスを受講することとなる。

【授業項目】

最初の授業で、各担当教官が提示する。

【教科書】

最初の授業で、各担当教官が提示する。

【参考書】

最初の授業で、各担当教官が提示する。

【成績の評価方法と評価項目】

最終試験、小テスト、レポート(宿題)、出席状況などにより総合的に評価

【留意事項】

1月中旬から下旬にかけて、約8日間、毎日2コマ、集中的に行う。実施時期が異なる3コースを開講予定。なお、この科目は一定の条件に基づき、欠落単位の代替単位とすることができる。

【担当教員】

村上 直久・中村 善雄・Ota Angela(太田アンジェラ)

【授業目的及び達成目標】

選択科目であり、能力に応じた全般的な英語力の伸長を目標とする。

【授業キーワード】

語彙、文法構造、読解、英作文

【授業内容及び授業方法】

授業内容及び授業方法:能力別クラス編成を行い、基礎クラスでは、基本的語彙(2000語レベル程度)と文法構造の把握に基づいて読解力を養成し、併せて基本的なリスニング能力と短文の作文能力も養成する。上級クラスではより難易度の高い語彙、文法構造を学習し、ある程度まとまった文章を読解する。サマリーライティングなどを通し、作文力も養成する。毎日宿題が課される。

【授業項目】

最初の授業で、各担当教官が提示する。

【教科書】

最初の授業で、各担当教官が提示する。

【参考書】

最初の授業で、各担当教官が提示する。

【成績の評価方法と評価項目】

定期試験、小テスト、レポート(宿題)、出席状況などにより総合的に評価する。

【留意事項】

1月中旬から下旬にかけて、約8日間、毎日2コマ、集中的に行う。実施時期が異なる2コースを開講予定。なお、この科目は一定の条件に基づき、欠落単位の代替単位とすることができる。

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟503室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

(1) 読む技能に関しては、読解の基礎である文法事項を練習問題を解きながら学習する。また、辞書の使い方も学ぶ。また、学習した文法、辞書の使用法の理解を深め、実際に応用できるようにするため、青少年向けの百科事典などからの文章を読む。なお、学習する主な文法事項は下記の内容である。

5つの基本文型

名詞(代名詞)

助動詞

不定詞

分詞

動名詞

句と節

関係詞

(2) 自然に話された英語を聞き取る練習を行う。

(3) 書く技能に関しては図書館のコンピュータを用いて自己紹介の作文を書く。英語を書くことを学ぶと共に、コンピュータ、ワープロソフトの使用法なども学習する。

【教科書】

コミュニケーションのための英文法ワークブック (金星堂)

【成績の評価方法と評価項目】

出席、毎回の宿題が25パーセント、期末試験が75パーセントとする。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2/>

【担当教員】

石岡 精三

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟509室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

1. 名詞句の機能(1.5回)
2. 直接疑問 vs. 間接疑問(1.5回)
3. 完了時制と進行形(1回)
4. 関係詞(3回)
5. 不定詞(3回)
6. 分詞(3回)
7. 動名詞(1回)

【教科書】

小中秀彦: 大学生のための基礎英文法, 成美堂
プリント

【参考書】

James H. M. Webb: 日本人に共通する英語のミス121, The Japan Times
T.D.ミントン(青木義巳訳): ここがおかしい日本人の英文法 II, 研究者

【成績の評価方法と評価項目】

最終試験-40%, 小テスト-20%, 各自が作成する単語帳からのテスト-20%, レポート-20%
最終試験を受けるためには、実授業数の4/5以上の出席が必要とある。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。各自が作成する単語帳の Format は、初回の授業で指示する。

【担当教員】

村上 直久

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟506室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

科学トピックを扱ったビデオ教材を使って授業を進める。毎回はじめにリスニング小テストを行う。

【教科書】

Science for Inquiring Minds
ビデオで学ぶ暮らしの科学 発行所 成美堂

【成績の評価方法と評価項目】

評価点は期末に行う(1)教科書本文の和訳(辞書使用不可)、(2)応用問題として先生が選ぶ科学読み物の和訳(辞書使用可)と(3)リスニング・テストの合計とし、割合は(1)が50%、(2)が25%、(3)が25%とする。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

石岡・ドライアー

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟509,510室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

The first half of this course, topics and themes that are of interest to students will be provided. The topics which are particularly interesting to students will be identified. Students must then start a project on their chosen topic to improve their four skills of reading, writing, speaking and listening. Finally, once the students have prepared their topics, the class will move onto the discussion phase of the course.

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on reading comprehension quizzes (40%); student writing (40%); and class participation (20%). All reading comprehension quizzes will be administered during class hours; writing assignments will consist in both in-class responses to writing prompts and written homework.

【留意事項】

Placement Test により、受講クラスが決定される。

【担当教員】

中村 善雄

【教員室または連絡先】

科学経営情報1号棟505

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。
授業内容の習熟度をはかるため、随時小テストを行なう。

【授業項目】

第1週	Unit 1: Electronic Ink	第9週	Unit 9: Emerging Diseases
第2週	Unit 2: Botox	第10週	Unit 10: Atlantic Heat Conveyor Currents
第3週	Unit 3: Earthquake Prediction	第11週	Unit 11: Unexceptional Beauty
第4週	Unit 4: Fuel Cells	第12週	Unit 12: Flight Simulators
第5週	Unit 5: Traveling	第13週	Unit 13: Return of Mammoth
第6週	Unit 6: Violence Gene	第14週	Unit 14: Echelon
第7週	Unit 7: Smart Buildings	第15週	期末試験
第8週	Unit 8: Asteroid Busting		

【教科書】

Cutting Edge in Science(金星堂)

【成績の評価方法と評価項目】

- I. 評価方法
平常点 50%(小テストを含む)、期末試験 50%
- II. 評価項目
 - (1) 科学情報に関する基本的な語彙力を習得していること。
 - (2) 英語で書かれた科学情報に関する基礎的文章の意味が把握できること。
 - (3) TOEIC形式のリスニング問題に慣れること。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
毎回、辞書を持参すること(電子辞書可)

【担当教員】

田中 章

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する

【授業項目】

第3, 18, 21章

【教科書】

小林敏彦/Shdwn M. Clankie「私たちの地球と健康」成美堂

【成績の評価方法と評価項目】

学期末試験を8割、平常点を2割

テキストの訳と作文(作文のないテキストは訳のみ)を授業中に割り当て、予習をやってきてあれば、平常点として3点加える。やってなければ3点減ずる。それから、テキストの練習問題は、やってきてあれば1点を加える。減点はしない。これらの平常点を学期末試験の点数に加減して成績を出す。

出席回数はいくまでも受検資格の有無に関係し、点数に換算しない。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
予習を必ずやってくること。辞典を持参すること。

【担当教員】

早川 正子

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

第1週－第14週

Scientific Article No.1-No.14

Listening Practice No.1-No.14

新聞、刊行物、書籍、インターネット等から得る情報をもとに、科学技術をテーマとする多様な最新の記事を読む、聞く、話す、書く、等の演習を行う。

To read, listen, talk, and write about a variety of current scientific articles and up-dated news from newspapers, periodicals, books, internet, etc.

第15週 期末テスト/Final Exam

【教科書】

購入は不要。毎回プリント教材を配布する。

Printed materials are provided.

【参考書】

毎回、辞書を必ず持参すること。

Be sure to bring your dictionary.

【成績の評価方法と評価項目】

毎回の小テスト(50%)、期末試験(50%)で評価する。

Evaluation is based on quizzes(50%) and final exam(50%).

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

隅田 朗彦

【教員室または連絡先】

非常勤講師

E-mail:sumida@n-seiryu.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成を目指して、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

毎回の授業で以下の活動を行う。

1. 速読演習
2. 精読演習
3. リスニング演習

【教科書】

1. Timed Readings Plus in Science Book 2 マグロウヒル出版社
2. この他に、適宜プリントが配布される。

【参考書】

特になし。

【成績の評価方法と評価項目】

1. 学期末総合試験 60%
2. 小テスト 30%
3. 課題提出 10%

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

英和辞典を持参すること。電子辞書でもかまわないが、訳語だけでなく用例の入っているものを推薦する。

【担当教員】

高橋 正平

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

- 第1週 Introduction
- 第2週 Unit 1: A Small Bed and a Large Breakfast
- 第3週 Unit 2: The Lap of Luxury
- 第4週 Unit 3: Dog Racing
- 第5週 Unit 4: A Prince's Dream
- 第6週 Unit 5: The Umpteenth Performance
- 第7週 Unit 6: Horror in Wax
- 第8週 Unit 7: Shakespere's Hometown
- 第9週 Unit 8: Their Lordships Carry on
- 第10週 Unit 9: Off to the lake District
- 第11週 Unit 10: A Jolly Good Group
- 第12週 Unit 11: Speakers' Corner
- 第13週 Unit 12: Gardens--English and Japanese
- 第14週 Unit 13: Baths--Roman, English and Japanese
- 第15週 期末試験

【教科書】

Richard Goodman: Oh! England! An American looks at England.(金星堂)

【成績の評価方法と評価項目】

- 期末試験:60%
- 出席:20%
- 授業での課題:20%

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

Haga Lori (羽賀ロリー)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。
The aim of this course is to motivate the students to think in English. To develop Positive Critical Thinking and Problem Solving Skills. To discuss and give opinions on topics relevant to young people today.

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙
Extract Information. Think in English. Solve Problems. Express Opinions.

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

In class I will concentrate on spoken English. We will discuss topics in pairs and groups. Students will be encouraged to explain and describe things as simply and clearly as possible and to persevere until the meaning is understood. Practical task based exercises, DVD, CD and audio tapes will be used to stimulate pair work, role play etc; Dictation will be given as homework.

【授業項目】

The schedule is based on IDENTITY. I intend to finish one unit every two weeks. We will also use other materials and analyze the dictation homework.

【教科書】

IDENTITY By Joseph Shaules, Tsujioka & Iida (Oxford University Press)

【成績の評価方法と評価項目】

- 1) In grading I will consider homework as a basic element. You will be given a short dictation to be completed as homework every week.(max 40%)
- 2) You are required to attend at least two-thirds of the classes in a term.(max 15%)
- 3) A quiz will be given at the beginning of each class and the results will be considered for grades. Active participation in the class activities will be considered.(max15%)
- 4) At the end of the term, an exam will be given. (max 30%)
- 5) You need to obtain 60 points to pass this course.

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

Please purchase the textbook at your earliest convenience. Also, have a 60 minute cassette tape ready for your homework assignments and a dictionary.

【担当教員】

沼屋 希夫

【教員室または連絡先】

非常勤講師
E-mail:m2n2my@ybb.ne.jp

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

第1週 Introduction
第2週 英英辞典の活用法(1)
第3週 英英辞典の活用法(2)
第4週～第13週 英語の名文の聞き取り、精読、対話文の練習、語彙力強化
第14週 Review
第15週 Final Exam

【教科書】

Oxford Wordpower 英英辞典, Oxford University Press / 増進会出版社

【成績の評価方法と評価項目】

出席・授業への貢献度—30%、小テスト—20%、最終試験—50%

【担当教員】

Ota Angela (太田アンジェラ)

【教員室または連絡先】

非常勤講師
E-meil:angela@cc.wakwak.com

【授業目的及び達成目標】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

英語学習の動機、責任を高める。学習の目的と方法は受講者にゆだねられ、内容もそれによって決定される。

The aim of this course is to increase student motivation towards, and responsibility for their study of English. The class will be asked to decide on the things that they both need to and would like to be able to use English for. Course content will be determined by these needs and wants.

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙
英語による説明

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

受講者の希望により小説読解、映画鑑賞、生徒自身の作成した英会話の練習などからテーマを選び学習する。

【授業項目】

毎週の授業は、以下のことに焦点を当てる:

- 1) 円滑に進められる会話力
- 2) 新しい語彙の習得
- 3) 聴解力や読解スピードのレベルアップ
- 4) 前回の復習小テスト

【教科書】

〈教科書・参考文献〉
追って決定
その他:
英和、和英辞典
メールアドレスとパソコンへの接続

【成績の評価方法と評価項目】

小テスト 20%
クラスワーク、ペアワーク 20%
自己評価及び授業の参加度 20%
最終試験 20%
宿題:提出のない場合は不合格になるので注意すること 20%

【留意事項】

授業の遅刻、欠席は上記評価項目のうち60%を失うことになるので注意すること。

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟503室

【授業目的及び達成目標】

1. 新聞、雑誌等に掲載された欧米の通信社発の科学一般を扱った記事が読める程度の読解力を身につける。
2. 科学一般に関する知識を身につける。
3. 現在欧米で関心が持たれている話題を知る。

【授業キーワード】

読解力、科学記事、科学知識、自然な日本語

【授業内容及び授業方法】

毎週、下記の授業項目に挙げたようないくつかの科学記事を読む。ただ漫然と日本語に訳すのではなく、内容を正確に理解して、訳文調ではなく、原文の英語を見なくても訳した日本語だけで他者に理解できるような自然な日本語にすることを目標とする。英文記事を読むための予備知識を得るために、必要に応じて日本語のビデオ、新聞、雑誌等を参考にする。記事の内容は特定の専門分野の知識を要求するものではなく、普通の大人であれば理解できるものである。

【授業項目】

以下のような題材を扱う。

1. Gas Buildup may cause Arctic ozone 'holes'
2. Drinkers need vitamin C, rat test shows
3. Garden of Eden theory under attack
4. Study suggests fish oil helps make bigger babies
5. Disposable contact lenses may cause eye infection
6. Study says fresh fish reduces risk of lung cancer for smokers
7. Rise in caffeine linked to a halt in smoking
8. Polluted men have more boys than girls
9. Positive people may be less likely to get heart disease: study
10. Work too much, risk heart attack

【教科書】

こちらでプリントを用意する。

【成績の評価方法と評価項目】

出席、毎回の宿題が25パーセント、期末試験が75パーセントとする。

【留意事項】

授業に必ず辞書を持ってくること。

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2/>

【担当教員】

石岡 精三

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟509室

【授業目的及び達成目標】

英文理解に不可欠である6つの文法概念と基本的な文法事項の把握を目指す。特に、科学文献に多用される準動詞表現がもつ特有の意味を勉強し、これを出発点として使える英語の知識、ここでは正確に意味をとる能力を育成する。

【授業キーワード】

Block 概念, 完了時制, 準動詞, 関係詞

【授業内容及び授業方法】

名詞機能を吟味することにより、英文における名詞 Block を画定する能力を養成する(自動詞 vs. 他動詞)。これを基礎として、関係代名詞と関係副詞との関係を理解する。これらの項目は、英文構造理解の出発点となるものである。次に名詞 Block 内部の構造を理解し、更に既に勉強した名詞 Block 画定能力を発展させるために、準動詞(特に過去分詞)の意味が考察される。この学習によって、動詞の過去形と過去分詞形の区別等が明瞭となる。

意味そのものについて考え、極力日本語に訳すことはしない(日本語訳等は、レポートで提出してもらう)。毎回学習事項に関する小テストが実施され、レポートも課される。更に、学生それぞれが各自の単語帳を作成する。

【授業項目】

1. 名詞 Block (1回)
2. 関係詞(2回)
3. 過去分詞の意味(2回)
4. 不定詞の意味(2回)
5. 現在分詞, 動名詞の意味(2回)
6. 完了時制(1回)
7. 語順のまとめ(2回)
8. 部分英訳による総合演習(最終試験を含む)(3回)

【教科書】

随時, プリントを配布する。
安河内哲也: TOEIC TEST スピードマスター(自習用)(Jリサーチ出版)

【参考書】

James H. M. Webb: 日本人に共通する英語のミス121, The Japan Times

【成績の評価方法と評価項目】

最終試験-40%, 小テスト-20%, 単語帳からのテスト-20%, レポート-20%
最終試験は、部分英訳の形で行う。最終試験を受けるためには、実授業数の4/5以上の出席が必要となる。

【留意事項】

これまであまり文法・構文を勉強していない学生は、是非とも受講するように。必須と思われる文法事項を、これまでとは違ったより分かりやすい形で勉強する。毎時間、英和辞典を持参するように。

【担当教員】

村山・ドライアー

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟503,510室

【授業目的及び達成目標】

Focus of this course will be reading and speaking. Provisionally, a discussion format will be used. Students will be expected and encouraged to participate in sharing their opinions of topics (of scientific topics?) that are of interest to students. I expect students to help me identify topics they want to talk about.

【授業項目】

Specific activities—some of which will serve as additional assessment vehicles—are likely to include, but not limited to, TOEIC-based quizzes (which may serve secondary purpose of preparing students to take the test); argumentative or persuasive discourse (in the form of both oral debate and written essays); student-authored role-plays; and student presentations.

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on reading exercises and writing assignments (40%); oral presentation & discussion (40%); and class attendance and participation (20%). Reading exercises and writing assignments will consist in both in-class activities and homework, with the majority of classwork being done during supervised class hours.

【担当教員】

石岡・ドライアー

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟509,510室

【授業目的及び達成目標】

Focus of this course will be reading and speaking. Provisionally, a discussion format will be used. Students will be expected and encouraged to participate in sharing their opinions of topics (of scientific topics?) that are of interest to students. I expect students to help me identify topics they want to talk about.

【授業項目】

Specific activities—some of which will serve as additional assessment vehicles—are likely to include, but not limited to, TOEIC-based quizzes (which may serve secondary purpose of preparing students to take the test); argumentative or persuasive discourse (in the form of both oral debate and written essays); student-authored role-plays; and student presentations.

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on reading exercises and writing assignments (40%); oral presentation & discussion (40%); and class attendance and participation (20%). Reading exercises and writing assignments will consist in both in-class activities and homework, with the majority of classwork being done during supervised class hours.

【担当教員】

中村 善雄

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟505

【授業目的及び達成目標】

I. 授業目的

主として、Eメールで使用される表現や書き方を通じて、実践的なライティング・スキルの向上を主眼とする。

II. 達成目標

メールや通信文の定型的書き方に習熟する。

辞書を使わずに、簡単なメール文章や通信文を書けるようにする。

【授業キーワード】

英作文、文法、語彙

【授業内容及び授業方法】

使用テキストは英文法・英訳の演習問題から構成されている。第1に、教科書の穴埋問題を通して、基本的な表現や語彙に対する理解を深める。第2に、先に学んだ基本的表現を含む英訳問題を行い、基礎的表現の習熟をはかる。第3に、既習の表現方法を用いながら、課されたトピックに関して自分でメールの文面を作成する。受講生には自分の書いた文章を黒板等に板書してもらうので、各自事前の予習を確実にを行うこと。随時、予習の有無をチェックする。授業内容の習熟度をはかるため、随時小テストを行なう。

【授業項目】

- | | |
|----------------|---------------------|
| (1) 招待文の書き方 | (7) 約束に関する文章の書き方 |
| (2) 挨拶文の書き方 | (8) 謝辞文の書き方 |
| (3) 通知文の書き方 | (9) 祝い文の書き方 |
| (4) 問い合わせ文の書き方 | (10) 苦情やクレームの文章の書き方 |
| (5) 依頼文の書き方 | (11) 求人文章の書き方 |
| (6) 自己紹介文の書き方 | (12) 期末試験(最終授業時に実施) |

【教科書】

E-mail Communication (鶴見書店)

【成績の評価方法と評価項目】

I. 評価方法

平常点(50%)、期末試験(50%)

II. 評価項目

(1) メールや通信文の定型的書き方に習熟しているか。

(2) 課されたトピックに対して、辞書を用いずに、簡単なメール文や通信文を書くことができるか。

【留意事項】

和英辞典を持参のこと(電子辞書可)。

【担当教員】

鞍掛 哲治

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

TOEIC (Bridge) 形式の問題を解くことによって、リスニング、文法、読解の基礎力養成を計る。(当演習は、TOEICの点数を上げるための講座ではありません。) また、基本的な語彙力が不足している学生が多いので、語彙力のアップを目指す。

【授業キーワード】

listening、grammar、reading、vocabulary

【授業内容及び授業方法】

テキストは、リスニング・文法・読解の演習問題から構成されている。各自【授業項目】を参照し、予習して出席して下さい。授業中は各自1問ずつ解答を言ってもらいます。また、毎回授業の最初に単語テストを実施しますので、準備を怠らないように希望します。

【授業項目】

第1回 Introduction Text Unit 1
第2回 Text Unit 1 and 2 単語テスト(1) Word Navi pp.14～47
第3回 Text Unit 2 and 3 単語テスト(2) Word Navi pp.48～81
第4回 Text Unit 4 単語テスト(3) Word Navi pp.82～117
第5回 Text Unit 5 単語テスト(4) Word Navi pp.118～151
第6回 Text Unit 6 単語テスト(5) Word Navi pp.152～187
第7回 Text Unit 7 単語テスト(6) Word Navi pp.188～221
第8回 Text Unit 8 単語テスト(7) Word Navi pp.222～247
中間試験
第9回 Text Unit 9 単語テスト(8) Word Navi pp.14～47
第10回 Text Unit 10 単語テスト(9) Word Navi pp.48～81
第11回 Text Unit 11 単語テスト(10) Word Navi pp.82～117
第12回 Text Unit 12 単語テスト(11) Word Navi pp.118～151
第13回 Text Unit 13 単語テスト(12) Word Navi pp.152～187
第14回 Text Unit 14 単語テスト(13) Word Navi pp.188～221
第15回 Text Unit 15 単語テスト(14) Word Navi pp.222～247
期末試験

【教科書】

Successful Steps for the TOEIC® (成美堂) 塚野壽一他著 1900円
Word Navi 3000 (啓林館) 英語授業研究会FEEL編 820円

【成績の評価方法と評価項目】

【成績評価の方法と基準】

中間・期末試験 (35% x 2 =70%)、毎回の単語・宿題テスト(30%)

*試験実施方法及び評価基準について

欠席が授業回数数の3分の1以上の学生は、単位の認定を行いません。

【留意事項】

1. 当演習を受講するにあたって事前に履修しておかなければならない科目はありませんが、英語の基礎を築きたい人を主な対象としています。したがって、英検2級程度以上の実力のある学生は、受講してもあまり得るところがないと思います。
2. 【授業項目】、【成績評価の方法と基準】は受講者の習熟度等により変更になる場合があります。その場合は、教室にて連絡します。
3. 追試は実施しません。
4. 質問等は、授業終了後のみ受け付けます。

【担当教員】

村山・ドライアー

【教員室または連絡先】

村山 化学経営情報1号棟 503室 ドライアー 同棟 510 室

【授業目的及び達成目標】

The aim of this class is to enhance the students' abilities—especially the communicative ability to listen, speak, and express ideas—gained in the study-abroad program in the previous semester at McCauley University

【授業キーワード】

Communicative English; practical English; presentation

【授業内容及び授業方法】

The English native speaker and Japanese native speaker will cooperate in conducting the class. Based on what the students have studied at McCauley, the English native speaker will further encourage students to improve their listening and speaking ability, with emphasis on the oral presentation of their ideas. The Japanese native speaker will assist students in developing the basic knowledge of grammar necessary for communication.

【授業項目】

Classes are intended to confirm and reinforce the content of the McCauley program. Accordingly, classes will emphasize activities that promote aural and oral fluency. These will include in-class discussion; role-playing; and interviews organized around situations and topics especially relevant in an international context.

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on both student achievement at McCauley and their demonstration of what they learn in our class. We will evaluate the totality of what students have retained from their experience at McCauley and what they learn in our class. Bases for evaluation will consist largely in student performance in interview and role-playing activities conducted in our class.

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2>

【担当教員】

村山・ドライアー

【教員室または連絡先】

村山 化学経営情報1号棟 503室 ドライアー 同棟 510 室

【授業目的及び達成目標】

The aim of this class is to enhance the students' abilities—especially the communicative ability to listen, speak, and express ideas—gained in the study-abroad program in the previous summer at Manitoba University.

【授業キーワード】

Reading; grammar; idioms; communicative English

【授業内容及び授業方法】

The English native speaker and Japanese native speaker will cooperate in conducting the class. Based on what the students have studied at Manitoba, the English native speaker will further encourage students to improve their listening and speaking ability, with emphasis on the oral presentation of their ideas. The Japanese native speaker will assist students in developing the basic knowledge of grammar necessary for communication.

【授業項目】

Classes are intended to confirm and reinforce the content of the Manitoba program. Accordingly, classes will emphasize activities that promote aural and oral fluency. These will include in-class discussion; role-playing; and interviews organized around situations and topics especially relevant in an international context.

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on both student achievement at Manitoba and their demonstration of what they learn in our class. We will evaluate the totality of what students have retained from their experience at Manitoba and what they learn in our class. Bases for evaluation will consist largely in student performance in interview and role-playing activities conducted in our class.

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2>

【担当教員】

石岡 精三

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟509室

【授業目的及び達成目標】

科学技術論文読解への導入として、すでに把握できている専門的な内容を英語を通じて学習する。文法・構文に関するさらなる理解と基本単語と専門語彙の習得により、英語論文を正確に読むための基礎力を養成する。

【授業キーワード】

英文構造, 化学英語, 科学技術英語

【授業内容及び授業方法】

専門の教官と英語教官が共同で行う授業で、化学に関する基礎的な内容を表す英文をテキストとして用いる。最初に、専門の教官が日常語彙を含め重要な単語の意味と発音を提示し、テキスト内容に関する簡単な導入を行う。単語テストが行われる。次に、英語教官が文法上・語法上の Point を簡潔に説明し、演習によって要点を再確認する。語法テストが行われる。さらに、学習事項を含む新たな英文を部分作文(虫食い)によって完成する。

当初は比較的短い英文を用い、極力全文訳を検討する。学習の進行につれて、問題となる箇所だけに検討を加え、多読を目指す。全文訳をレポートとして提出してもらうこともある。

学生それぞれが、各自の単語帳を作成する(書式は、最初の授業で提示する)。各自の単語帳に基づく単語試験も実施される。

【授業項目】

1. 発音と発音記号(0.5回)
2. 名詞 Block(1.5回)
3. 疑問文構造(直接疑問 vs. 間接疑問)(1回)
4. 後置修飾(1)(形容詞だけでなく、分詞の意味・用法も含まれる)(2回)
5. 分詞表現と関係詞(3回)
6. 復習(1回)
7. It を用いた強調構文(1回)
8. To 不定詞の意味と用法(3回)
9. 動名詞の意味と用法(特に、前置詞の目的語として)(1回)
10. 後置修飾(2)(To 不定詞が用いられる場合)(1回)

【教科書】

プリントを配布する。

【参考書】

奥津 文夫: 日本人の間違いやすい英語表現、三修社

【成績の評価方法と評価項目】

単語テスト-20%、語法テスト(虫食いによる英文完成を含む)-30%、レポート・宿題-10%、単語帳からの単語試験-20%、最終試験-20%。

【留意事項】

化学系の学生が優先して受講できる。

毎回、英和辞典を持参するように。

各自が作成する単語帳の Format は、初回の授業で指示する。

【担当教員】

青木・ドライアー

【教員室または連絡先】

機械建設1号棟602室, 化学経営情報1号棟510室

【授業目的及び達成目標】

Mechanical Engineering—It is expected that collaboration between the two team-teaching instructors will be organized more or less along the following lines: The Japanese native speaker will take the lead in presenting and teaching factual information of importance in understanding the subject of mechanical engineering. For his part, the English native speaker will seek out and present to students examples of practical English-language usage in this field. These might include, for example, articles concerned with key topics and advertisements in which important terminology is given practical application. Students will be provided, as well, with both advice from the instructor and opportunities to engage in self-guided attempts to induce general rules of language usage in the field of mechanical engineering—e.g., the appropriate use of particular verbs; the role of the passive voice in describing experiments; etcetera. Finally, students will be encouraged to describe—both orally and in writing—the content of ongoing research and experiences in the field. Every effort will be made to find a forum for students to post or publish their writing, possibly in an on-line journal.

【授業キーワード】

presentations; summaries; vocabulary; collocations

【授業内容及び授業方法】

Students will be asked to prepare multiple drafts of a document in which they describe a mechanical process. They will later be called upon to make an oral presentation on this topic. In support of this project, students will be given a number of small exercises in which they are exposed to natural English for scientific purposes.

【授業項目】

Descriptive writing and re-writing
Vocabulary enrichment
Summary writing based on listening
Job searches and resumes

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on in-class activities and homework (30%); group summaries (30%); and group presentations (40%). Class activities and homework will consist in short assignments intended to raise consciousness with respect to practical, useful English relevant to science in general and field of mechanical engineering in particular.

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟503室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

(1) 読む技能に関しては、まず容易な英語で書かれている総合教材を用い、一文一文日本語に訳さず、おおよその内容を把握する練習を行う。およそ1ページほどの本文に関して、さまざまな形式の内容理解を試す問題があり、それらのいくつかを学生諸君の様子を見ながら進めていく。それと同時に科学に関するある程度むずかしいと思われる文書をきちんと読める練習も行う。青少年向けの百科事典等から題材を求める。ここで文法の理解、英和辞典の引き方等を学習する。(2) 聞く能力をつけるために、何度か簡単なニュースの書き取りの練習を行う。(3) 書く勉強は図書館のコンピュータを用い、自己紹介の作文を書く。同時に簡単なインターネット・ワープロの使用方も学習する。

なお、読む練習で用いる教科書の内容は以下の通りである。

1. Sharks: Useful Hunters of the Sea
2. A Brief History of Horses with Humans
3. Learning a Second Language
4. Food and Culture
5. The Importance of Exercise for Children
6. The New York City Marathon: A World Race
7. Margaret Mead: The World Was Her Home
8. Louis Pasteur: A Modern-Day Scientist
9. The Origin of the Moon
10. Maps: The Keys to Our World
11. Saving Lives with Weather Forecasting
12. Clues and Criminal Investigation

【教科書】

Themes for Today (松柏社)

【成績の評価方法と評価項目】

出席、毎回の宿題が25パーセント、期末試験が75パーセントとなる。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2/>

【担当教員】

石岡 精三

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟509室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

1. 名詞句の機能(1.5回)
2. 直接疑問 vs. 間接疑問(1.5回)
3. 完了時制と進行形(1回)
4. 関係詞(3回)
5. 不定詞(3回)
6. 分詞(3回)
7. 動名詞(1回)

【教科書】

小中秀彦: 大学生のための基礎英文法, 成美堂(授業用)
登美博之: 語順が身につく英作文(レポート用)
プリント(レポート用)

【参考書】

James H. M. Webb: 日本人に共通する英語のミス121, The Japan Times
T.D. ミントン(青木義巳訳): ここがおかしい日本人の英文法 II, 研究社

【成績の評価方法と評価項目】

最終試験-40%, 小テスト-20%, 各自が作成する単語帳からのテスト-20%, レポート-20%
最終試験を受けるためには、実授業数の4/5以上の出席が必要となる。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。各自が作成する単語帳の Format については、最初の授業で指示する。

【担当教員】

村上 直久

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟506室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

科学トピックを扱った英文を読む。毎回はじめにリスニング小テストを行う。

【教科書】

学期初めに指示する。

【成績の評価方法と評価項目】

評価点は期末に行う(1)教科書本文の和訳(辞書使用不可)、(2)応用問題として先生が選ぶ科学読み物の和訳(辞書使用可)と(3)リスニング・テストの合計とし、割合は(1)が50%、(2)が25%、(3)が25%とする。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

石岡・ドライアー

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟509,510室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

The first half of this course, topics and themes that are of interest to students will be provided. The topics which are particularly interesting to students will be identified. Students must then start a project on their chosen topic to improve.

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on reading comprehension quizzes (40%); student writing (40%); and class participation (20%). All reading comprehension quizzes will be administered during class hours; writing assignments will consist in both in-class responses to writing prompts and written homework.

【留意事項】

Placement Test により、受講クラスが決定される。

【担当教員】

中村 善雄

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟505

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。授業内容の習熟度をはかるため、随時小テストを行なう。

【授業項目】

I. 15章から構成されるテキストの購読や演習問題を通じて、以下の事項を中心に授業を進める。

- (1) キーセンテンスやキーワードの説明
- (2) 語彙や語句のパラフレーズ
- (3) イディオム表現の説明
- (4) パラグラフ・リーディングの演習
- (5) 速読の基礎的演習
- (5) 穴埋め問題によるリスニング力の演習
- (6) 小テストによる語彙力の向上

II. 期末試験(最終授業時に実施)。

【教科書】

PRISM (Yellow) (マクミラン・ランゲージハウス)

【成績の評価方法と評価項目】

I. 評価方法

平常点 50%(小テストを含む), 期末試験 50%

II. 評価項目

- (1) 400～450語程度の文章を読んで、大意を把握することができるか。
- (2) 文章全体、あるいはパラグラフのキーセンテンスやキーワードに対する理解が十分であるか。
- (3) アカデミックな文章を読む上での基礎的語彙力が身につくか。
- (4) 語彙や語句のパラフレーズができるか。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
授業に際して、辞書を持参すること(電子辞書可)

【担当教員】

田中 章

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

第4, 14, 17章

【教科書】

小林敏彦/Shawn M. Clankie「私たちの地球と健康」成美堂

【成績の評価方法と評価項目】

学期末試験を8割、平常点を2割

テキストの訳と作文(作文のないテキストは訳のみ)を授業中に割り当て、予習をやってきてあれば、平常点として3点加える。やってなければ3点減ずる。それから、テキストの練習問題は、やってきてあれば1点を加える。減点はしない。これらの平常点を学期末試験の点数に加減して成績を出す。

出席回数はいくまでも受検資格の有無に関係し、点数に換算しない。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
予習を必ずやってくること。辞典を持参すること。

【担当教員】

早川 正子

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

第1週－第14週

Scientific Article No.1-No.14

Listening Practice No.1-No.14

新聞、刊行物、書籍、インターネット等から得る情報をもとに、科学技術をテーマとする多様な最新の記事を読む、聞く、話す、書く、等の演習を行う。

To read, listen, talk, and write about a variety of current scientific articles and up-dated news from newspapers, periodicals, books, internet, etc.

第15週 期末テスト/Final Exam

【教科書】

購入は不要。毎回プリント教材を配布する。

Printed materials are provided.

【参考書】

毎回、辞書を必ず持参すること。

Be sure to bring your dictionary.

【成績の評価方法と評価項目】

毎回の小テスト(50%)、期末試験(50%)で評価する。

Evaluation is based on quizzes(50%) and final exam(50%).

【担当教員】

隅田 朗彦

【教員室または連絡先】

非常勤講師
E-mail:sumida@n-seiryu.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成を目指して、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

毎回の授業で以下の活動を行う。

1. 速読演習
2. リスニング演習

【教科書】

- 1.『INTERMEDIATE Faster Reading 速読の実践演習』 成美堂
2. この他に、適宜プリントが配布される。

【参考書】

特になし。

【成績の評価方法と評価項目】

以下の3点について総合的に評価する。

1. 学期末総合試験 60%
2. 小テスト 30%
3. 課題提出 10%

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
英和辞典を持参すること。電子辞書でもかまわないが、訳語だけでなく用例の入っているものを推薦する。

【担当教員】

高橋 正平

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

第1週	Introduction
第2週	Chap.1: Automated Highway
第3週	Chap.2: Stress Hormone Causes Memory Loss
第4週	Chap.3: Mathematics and the Brain
第5週	Chap.4: Music and Man
第6週	Chap.5: Ageless Cells
第7週	Chap.6: Control Tower Simulator
第8週	Chap.7: Iris Scan and Trains
第9週	Chap.8: NASA Launches Deep Space One
第10週	Chap.9: Anti-fat Diet
第11週	Chap.10: Hunger Hormone Discovery
第12週	Chap.11: Human Speech Development
第13週	Chap.12: Lightning
第14週	Chap.13: La Nina
第15週	期末試験

【教科書】

To the Future VOA Special English Program(マクミラン・ランゲージ・ハウス)

【成績の評価方法と評価項目】

期末試験:60%
出席:20%
授業での課題:20%

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
英和辞典を必ず持ってくること。

【担当教員】

Haga Lori (羽賀ロリー)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。
The aim of this course is to motivate the students to think in English. To develop Positive Critical Thinking and Problem Solving Skills. To discuss and give opinions on topics relevant to young people today.

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙
Extract Information. Think in English. Solve Problems. Express Opinions.

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

In class I will concentrate on spoken English. We will discuss topics in pairs and groups. Students will be encouraged to explain and describe things as simply and clearly as possible and to persevere until the meaning is understood. Practical task based exercises, DVD, CD and audio tapes will be used to stimulate pair work, role play etc; Dictation will be given as homework.

【授業項目】

The schedule is based on IDENTITY. I intend to finish one unit every two weeks. We will also use other materials and analyze the dictation homework.

【教科書】

IDENTITY By Joseph Shaules, Tsujioka & Iida (Oxford University Press)

【成績の評価方法と評価項目】

- 1) In grading I will consider homework as a basic element. You will be given a short dictation to be completed as homework every week.(max 40%)
- 2) You are required to attend at least two-thirds of the classes in a term.(max 15%)
- 3) A quiz will be given at the beginning of each class and the results will be considered for grades. Active participation in the class activities will be considered.(max15%)
- 4) At the end of the term, an exam will be given. (max 30%)
- 5) You need to obtain 60 points to pass this course.

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

Please purchase the textbook at your earliest convenience. Also, have a 60 minute cassette tape ready for your homework assignments and a dictionary.

【担当教員】

沼屋 希夫

【教員室または連絡先】

非常勤講師
E-mail:m2n2my@ybb.ne.jp

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

第1週 Introduction
第2週 英英辞典の活用法(1)
第3週 英英辞典の活用法(2)
第4週～第13週 英語の名文の聞き取り、精読、対話文の練習、語彙力強化
第14週 Review
第15週 Final Exam

【教科書】

Oxford Wordpower 英英辞典, Oxford University Press / 増進会出版社

【成績の評価方法と評価項目】

出席・授業への貢献度—30%、小テスト—20%、最終試験—50%

【担当教員】

Ota Angela (太田アンジェラ)

【教員室または連絡先】

非常勤講師
E-meil:angela@cc.wakwak.com

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。英語学習の動機、責任を高める。学習の目的と方法は受講者にゆだねられ、内容もそれによって決定される。

The aim of this course is to increase student motivation towards, and responsibility for their study of English. The class will be asked to decide on the things that they both need to and would like to be able to use English for. Course content will be determined by these needs and wants.

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。受講者の希望により小説読解、映画鑑賞、生徒自身の作成した英会話の練習などからテーマを選び学習する。

【授業項目】

毎週の授業は、以下のことに焦点を当てる:

- 1) 円滑に進められる会話力
- 2) 新しい語彙の習得
- 3) 聴解力や読解スピードのレベルアップ
- 4) 前回の復習小テスト

【教科書】

〈教科書・参考文献〉
追って決定
その他:
英和、和英辞典
メールアドレスとパソコンへの接続

【成績の評価方法と評価項目】

小テスト 20%
クラスワーク、ペアワーク 20%
自己評価及び授業の参加度 20%
最終試験 20%
宿題:提出のない場合は不合格になるので注意すること 20

【留意事項】

授業の遅刻、欠席は上記評価項目のうち60%を失うことになるので注意すること。

【担当教員】

石岡 精三

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟509室

【授業目的及び達成目標】

英文理解に不可欠である6つの文法概念と基本的な文法事項の把握を目指す。特に、科学文献に多用される準動詞表現がもつ特有の意味を勉強し、これを出発点として使える英語の知識、ここでは正確に意味をとる能力を育成する。

【授業キーワード】

Block 概念, 完了時制, 準動詞, 関係詞

【授業内容及び授業方法】

名詞機能を吟味することにより、英文における名詞 Block を画定する能力を養成する(自動詞 vs. 他動詞)。これを基礎として、関係代名詞と関係副詞との関係を理解する。これらの項目は、英文構造理解の出発点となるものである。次に名詞 Block 内部の構造を理解し、更に既に勉強した名詞 Block 画定能力を発展させるために、準動詞(特に過去分詞)の意味が考察される。この学習によって、動詞の過去形と過去分詞形の区別等が明瞭となる。

意味そのものについて考え、極力日本語に訳すことはしない(日本語訳等は、レポートで提出してもらう)。毎回学習事項に関する小テストが実施され、レポートも課される。更に、学生それぞれが各自の単語帳を作成する。

【授業項目】

1. 名詞 Block (1回)
2. 関係詞 (2回)
3. 過去分詞の意味 (2回)
4. 不定詞の意味 (2回)
5. 現在分詞, 動名詞の意味 (2回)
6. 完了時制 (1回)
7. 語順のまとめ (2回)
8. 部分英訳による総合演習(最終試験を含む) (3回)

【教科書】

随時、プリントを配布する。
安河内哲也: TOEIC TEST スピードマスター(自習用)(Jリサーチ出版)

【参考書】

James H. M. Webb: 日本人に共通する英語のミス121
, The Japan Times

【成績の評価方法と評価項目】

最終試験 - 40%, 小テスト - 20%, 単語帳からの試験 - 20%, レポート - 20%
最終試験は、部分英訳の形で行う。最終試験を受験するためには、実授業数の 4/5 以上の出席が必要となる。

【留意事項】

これまであまり文法・構文を勉強していない学生は、是非とも受講するように。必須と思われる文法事項を、これまでとは違ったより分かりやすい形で勉強する。毎時間、英和辞典を持参するように。毎回の学習事項に関する小テストには、TOEICの出題形式によるテストも含まれる。

【担当教員】

村山・ドライアー

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟503, 510室

【授業目的及び達成目標】

Focus of this course will be reading and speaking. Provisionally, a discussion format will be used. Students will be expected and encouraged to participate in sharing their opinions of topics (of scientific topics?) that are of student interests. I expect students to help me identifying topics they want to talk about.

【授業項目】

Specific activities—some of which will serve as additional assessment vehicles—are likely to include, but not limited to, TOEIC-based quizzes (which may serve a secondary purpose of preparing students to take the test); argumentative or persuasive discourse (in the form of both oral debate and written essays); student-authored role-plays; and student presentations.

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on reading exercises and writing assignments (40%); oral presentation & discussion (40%); and class attendance and participation (20%). Reading exercises and writing assignments will consist in both in-class activities and homework, with the majority of classwork being done during supervised class hours.

【担当教員】

石岡・ドライアー

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟509,510室

【授業目的及び達成目標】

Focus of this course will be reading and speaking. Provisionally, a discussion format will be used. Students will be expected and encouraged to participate in sharing their opinions of topics (of scientific topics?) that are of student interests. I expect students to help me identifying topics they want to talk about.

【授業項目】

Specific activities—some of which will serve as additional assessment vehicles—are likely to include, but not limited to, TOEIC-based quizzes (which may serve a secondary purpose of preparing students to take the test); argumentative or persuasive discourse (in the form of both oral debate and written essays); student-authored role-plays; and student presentations.

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on reading exercises and writing assignments (40%); oral presentation & discussion (40%); and class attendance and participation (20%). Reading exercises and writing assignments will consist in both in-class activities and homework, with the majority of classwork being done during supervised class hours.

【担当教員】

中村 善雄

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟505

【授業目的及び達成目標】

基本的な文法事項を踏まえたうえで、コロケーションの間違いや日英発想の違いによる、日本人が犯しやすい間違いをピックアップして、英文を書く上での注意事項を正しく理解する。多岐にわたるトピックを題材とし、様々な場面で対応できる英語表現力を身につける。

【授業キーワード】

英作文、文法、語彙

【授業内容及び授業方法】

使用テキストは文法・英訳の演習問題から構成されている。したがって、第1に、誤りやすい文法事項を集めた問題とその解説を通じて、英文を書く上での基礎的知識を理解する。第2に、先の文法事項を含む英文を書くことで、文の構造の理解と英語表現力の充実をはかる。英訳問題は黒板等に板書してもらうので、受講生は事前の予習を確実にすること。随時、小テストを行い、授業内容の習熟度をはかる。

【授業項目】

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| (1) 名詞の用法(3回) | (5) 形容詞の用法(2回) |
| (2) 冠詞の使い方(1.5回) | (6) 副詞の用法(1.5回) |
| (3) 動詞の用法(3回) | (7) イディオムの使い方(1.5回) |
| (4) 時制の誤り——日・英時制のずれ(1.5回) | (8) 期末試験(1回) |

【教科書】

Common Errors in English Writing (Third Edition) (マクミラン・ランゲージハウス)

【成績の評価方法と評価項目】

- I. 評価方法
平常点 50%(小テストを含む)、期末試験 50%
- II. 評価項目
 - (1) 基本的な文法事項が正しく理解できているか。
 - (2) 文の構造を踏まえたうえで、大きなミスを犯さずに英文を書くことができるか。
 - (3) 平素の授業内容が理解できているか。(小テストを参照)

【留意事項】

和英辞典を持参のこと(電子辞書可)。

【担当教員】

鞍掛 哲治

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

TOEICの問題を通して、基本的なリスニング、文法、読解力の養成を計る。また、TOEICの問題、並びに問題形式に慣れるようにする。さらに、基本的な語彙力が不足している学生が多いので、語彙力のアップを目指す。この授業終了時には、TOEICの点数が450以上になることを目標とする。

【授業キーワード】

TOEIC, Listening, Grammar, Vocabulary
Reading Skills

【授業内容及び授業方法】

テキストは、リスニング・文法・読解の演習問題から構成されている。各自、それらの問題を予習として解き、授業中はそれらの確認を行ってもらいたい。また、毎回授業の最初に単語・宿題テストを実施するので、準備を怠らないよう希望する。

【授業項目】

- 第1回 Introduction, TOEICの小test(1)
- 第2回 教科書(1章) Listening 現在の動作 Reading 動詞と名詞
- 第3回 教科書(2章) Listening 状況描写 Reading 形容詞と副詞
- 第4回 教科書(3章) Listening 位置関係 Reading 前置詞と冠詞
- 第5回 教科書(4章) Listening 一般疑問文 Reading 接続詞と関係詞
- 第6回 教科書(5章) Listening 特殊疑問文 Reading 主語と動詞の一致
- 第7回 教科書(6章) Listening 肯定文その他 Reading 動詞の語法と準動詞
- 第8回 教科書(7章) Listening 話題/提案 Reading 助動詞と時制・仮定法
- 第9回 教科書(8章) Listening 場面・職業 Reading 冠詞と数の概念
- 第10回 教科書(9章) Listening 現在の動作 Reading 動詞と名詞
- 第11回 教科書(10章) Listening 現在の動作 Reading 動詞と名詞
- 第12回 教科書(11章) Listening 広告・宣伝 Reading 手紙・FAX・メモ
- 第13回 教科書(12章) Listening 講義・会議 Reading 記入用紙・統計資料
- 第14回 TOEICの模擬test(1)
- 第15回 TOEICの模擬test(2)

【教科書】

「Operation TOEIC Master」(松柏社) by 石井隆之他 1700円(外税)

【成績の評価方法と評価項目】

毎回の単語・宿題テスト(80%)と、class participation(20%)に基づいて評価する。

*試験実施方法及び評価基準について

1. 単語・宿題テストは、TOEICに倣ってマークシートを用いて実施する。このテストの平均点が79点以下の学生は、単位の認定を行わない。
2. 欠席が授業回数の3分の1以上の学生は、単位の認定を行わない。

【留意事項】

1. 追試の実施やレポート等の提出はありません。
2. 質問等は、授業終了後のみ受け付けます。
3. TOEIC Japanの公式ページ <http://www.toEIC.or.jp/index.html> です。

【担当教員】

陸・佐野・ドライアー

【教員室または連絡先】

環境システム棟653室(陸)、366室(佐野)、化学経営情報1号棟510室(ドライアー)

【授業目的及び達成目標】

Environmental Studies-It is expected that collaboration between the two team-teaching instructors will proceed along the following lines: The Japanese native speaker will take the lead in presenting and teaching factual information of importance in understanding the field of environmental studies. For his part, the English native speaker will present students with a number of readings-and possibly video programs-in which important issues related to environmental concepts are considered. Students will be challenged to consider applications and implications of environmental concepts, as well as governmental and organizational policies. They will also be asked to consider, and re-consider, the basic assumptions and philosophical bases that underpin human actions relative to the environment. Thus, readings will include not only descriptions of current problems such as, e.g., global warming or deforestation, but also essays in which authors delineate ways of thinking about our relationship with the natural world.

【授業キーワード】

Environmental problems; useful vocabulary; curriculum vitae; reading

【授業内容及び授業方法】

Students will be given a number of reading assignments and quizzes in class. They will also be expected to develop their awareness of important vocabulary related to the topic. Emphasis will be placed on the importance of environmental activism in everyday life.

【授業項目】

Global warming
Alternative fuels
Energy conservation in practice
Think globally, act locall

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on reading exercises and writing assignment. (50%); group presentations (30%); and participation in class activities, including class discussiononn (20%). All reading exercises will be administered druing class hours; writing assignments will consist both in-class responses to writing to writing prompts and written homework.

【担当教員】

Valerie. McGown(ヴァレリー マクガウン)・浅井 達雄

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟404室(マクガウン)、総合研究棟505室(浅井)

【授業目的及び達成目標】

経営情報システムおよびビジネス関連の専門用語の獲得、専門分野の英語文献の読解と、それについての英語でのディスカッションに積極的に参加できるようになることを目的とする。

【授業キーワード】

専門用語、専門分野の英語文献、英語でのディスカッション

【授業内容及び授業方法】

経営情報システム系教官によるTeam Teaching。
経営情報システムおよびビジネス関連の英語文献をもとに、その言葉づかい、表現の仕方に注目して、英語の理解力を高め、それをディスカッションに生かす。

【教科書】

未定

【参考書】

関連する学術論文、新聞・経済誌の記事を教材として適宜配布する。

【留意事項】

もうかなりの英語力をもって、それをさらに伸ばしたい学生のためのadvanced courseである。Class size will be limited to 15 maximum based on an interview and a reading exercise conducted during the first class with the teachers.

【担当教員】

岩崎・細山田・ドライアー

【教員室または連絡先】

岩崎:機械建設1号棟9617、細山田:機械建設1号棟807、ドライアー:化学経営情報1号棟510

【授業目的及び達成目標】

It is expected that collaboration between the two team-teaching instructors will proceed along the following lines: The Japanese native speaker will take the lead in presenting and teaching factual information of importance in understanding the subject of civil and construction engineering. For his part, the English native speaker will present students with a number of readings in which important issues in the field of civil and construction engineering are considered.

【授業キーワード】

technical term, technical reading, technical writing, presentation

【授業内容及び授業方法】

Where appropriate, we will focus on language items—including vocabulary and rhetoric—arising out of these (English-language) readings. Students will be asked to consider the applications and implications of civil and construction engineering concepts. They may be asked to analyze and assess at least one actual architectural proposal or project—e.g., the plans for Ground Zero in New York or construction at this university. Finally, students will in all likelihood be asked to draft their own civil and construction engineering proposal and present this proposal in both written and oral formats.

【授業項目】

Structural engineering
Geotechnical engineering
Hydraulics
Concrete engineering
Infrastructure planning
Presentation

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based on attendance/active participation (10%); in-class assignments and homework (40%); and term-end presentations (50%). In-class assignments and homework will consist primarily in reading quizzes and short essays.